

リサ・ロイヤル Lyssa Royal

スターピープル
来日インタビュー②

私にとつての動機は、
宇宙に対する疑問に答えたかった

宇宙情報をチャネルする 世界的に有名なチャネラー

世界的に有名なチャネラーであるリサ・ロイヤルさんは、ヒプノシス研究の際に
自分自身を催眠状態に持っていく、UFO体験を思い出したという。

「スター・コネクションズ」のワークショップのため来日したリサさんに、宇宙について語ってもらおう。
※リサ・ロイヤルさんが、サーシャという存在をチャネリングしながらのインタビューです。



リサ・ロイヤル

Lyssa Royal

宇宙情報をチャネルする指折りのチャネラー。
大学で心理学を専攻し、ヒプノシスを研究。その研究の中で自分の直感的な能力に気づき、
1979年、家族の目の前で驚くべきUFO目撃体験をする。
この目撃体験がきっかけとなって、宇宙意識について深く興味を抱くようになる。
1985年からはトランス・チャネリングをするようになり、
以来20年以上にわたって世界中でセミナーを開催。
また、Flower of Life Researchでは、エデュケーション・ディレクターとして
FOL ファシリテーターのトレーニングプログラムを運営。
シード・オブ・ライフやオクタヒドロンのワークショップ プログラムの創設も行う。
著書には、『プリズム・オブ・リラ』『宇宙人遭遇への扉』
『アセンションの道しるべ』（以上ネオデルフィ）『宇宙人 内なる訪問者』（徳間書店）がある。

取材・文=辻 麻里子

Interview & Text by Mariko Tsuji

通訳=甲斐さやか

Interpretation by Sayaka Kai

この銀河における人類の起源

——銀河における人類の起源が琴座
にあると『プリズム・オブ・リラ』（ネ
オデルフィ）にリサさんは書かれてい
ますが、琴座が唯一の発祥の地なの
でしょうか？

リサ それぞれのパラダイムが生ま
れる起源があり、二極性を体験する
発祥地が琴座なのです。それでは、
他のパラダイムとはなんですか？

と、よく聞かれますが、サーシャの
視点からすると、私たちはここに存
在しているので、他のパラダイムに
ついて私がお答えできるのは、すべて
仮説にすぎません。

私たちのもっと大きなマインドも
この質問について考えてきました。し
かし、この問題について考察するマ
インド自体が、このパラダイムに存在
しているのです、この質問にお答え
すること自体がチャレンジですね。

——他の銀河において、たとえばマ
ンドロメダ銀河など、それぞれに起
源があるのでしょうか？

リサ まさにアンドロメダの話をし
ようとしていたので、この質問を聞
いて非常に驚きました。このパラダイ
ムは銀河別に限定されるものではな
りません。銀河という言葉を使うと
人間のマインドが理解しやすいため
の言葉を使っているにすぎません。

たとえば、アンドロメダのリアリ
ティについてお話ししますが、一番近
い比喩として提供できるのは、道を
歩いている時、一歩進むことに一瞬
瞬のあなたのリアリティが変わる
けです。見えている景色が変わ
てゆきますが、それは、常に動い
ているからです。

また、アンドロメダ人はブレアデア
人の師であるとしてよく話していま
すが、アンドロメダは他のパラダイム
体験するための、数少ない扉の一つ
なのです。彼らのパラダイムは二極性
というよりも「常に変化を続ける」と
いうものなのです。

二極性の先には
なにがあるのか？

——「二極性が統合され、大いなる
礎と一つになる」とサーシャは語って

いますが、意識が大いなる礎と一つになるのか、その場合肉体はどうなりますか？

リサ 最終的に私たちの肉体は密度が薄くなって、光に満ち溢れてきます。アルクトゥールス人が初めて地球に来た時、彼らは光を凝縮した肉体を持っていました。今はこういった密度の濃い物質というかたちをとっていますが、もっとプラズマ・ライト的な状態になっていきます。

そして、最終的には肉体が必要なくなります。しかし、肉体というリアリテイは他の惑星でも存在し続けるでしょう。二極性を探求する必要がまったくなくなった時、すべては光になります。

地球外生命体の死生観

——死と誕生のプロセスについて、プレアデス人の死生観について教えてください。

リサ それはとてもいい質問ですね。今まで誰もそんな質問をしにくれませんでした（笑）。誕生、思春期、結婚、親になる、長老になる、そして死と、私たちにとって全てが神聖です。各段階に対応する聖なる実践というものがありません。

まず誕生のプロセスですが、これは最も神聖なものの一つです。プレアデスのコロニーはたくさんあるので、それぞれ違うのですが、私の惑星を例にあげると、出産をする母親が円の真ん中において、その周りを親しい人が輪になって取り囲み、彼ら全員

がとても深い瞑想状態に入ります。

私たちの誕生には痛みは伴いません。人間に比べると早く出産し、イルカの出産に似ています。時々、水中で産むこともあり、ある種の物質に入ることもあります。これは地球上にないものなので、なかなか言葉では言い表せないのですが、海藻のゼリーのように見えるあたたかいもののなかで出産することもあり、赤ちゃんは皮膚から栄養素をもらえるわけです。

母親の周りを親しい人たちが輪になって取り囲み、彼ら全員が非常に深い瞑想状態に入ります。生まれてくる赤ちゃんの魂と、みんなでコミュニケーションを取って、魂はワームホールという小さな産道を通って生まれるので、その際に導いてあげるのです。生まれた時の赤ちゃんは、ただ言葉は話せず、脳も発達していませんが、完全に意識が目覚めていて「自分は赤ちゃんだ」とわかっているのです。今すぐには喋ることができないので、焦らないようにしようと赤ちゃんは思っています。愛するものたちと感情を通してコミュニケーションをとります。

そして、死というプロセスは意識的に行われます。地球のマスターたちもそうですが、死に際して意識を保ち続けるのです。死は偶然起きるようには思えることもありますが、そういうときも必ず目的があつてそうなっています。ほとんどの場合、死は偶然に起きるのではなく、意識的に死んでいくということです。命はずっと継続していると思っていますので、それほど分離感はなく、誰もそれは

ど悲しまず、むしろ喜びであるのです。

普通は、死ぬ前に水の周りでパーティーを開きます。みんなが水の中に入って浄化しますが、これは「生命を手放す」ということのシンボルなのです。生命をその源に還してあげるということであらわしています。その魂が何も遺さずに、すっきりとした状態で次の経験に移行できるのです。

そして、その時が来ると、みんな輪を作り真ん中に死にゆく人がいて、一人ひとりが自分のハートからメッセージを伝えます。最後に真ん中の人が言葉を送り、痛みはなく、そのまま死に至るといふ美しいプロセスです。

地球外生命体の結婚観

——結婚の形態はどうなのでしょう？

リサ 興味深い領域に入ってきていますね（笑）。私たちの人間関係は地球のものとは違ってきます。一夫一妻制もありますが、それに限られたものではありません。グループで結婚することもあります。地球の文化では結婚は永遠ですが、プレアデスのエネルギー自体が、全てのものは変化して一定ではないということ認識している文化なのです。その瞬間に、ハートでお互いに対してコミットします。

しかし、そのパートナーシップが、もはや違うものになってしまったり、そうあるべきでないものに変わってしまったら、全てのメンバーがそのこと



チャネリング中のリサ・ロイヤルさん



【プリズム・オブ・リラ】
リサ・ロイヤル & キース・ブリスト 共著
星名一美 訳
ネオデルフィ
1,575円（税込）